



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社 サニックス

上場取引所 東 福

コード番号 4651 URL <https://sanix.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宗政 寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 企画本部長 兼 管理本部長 兼 経営企画部長 (氏名) 井上 公三

TEL 092-436-8882

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	11,893	2.5	784	26.0	755	25.8	663	52.2
2020年3月期第1四半期	11,603	1.1	623	499.7	600	287.8	436	291.5

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 653百万円 (63.5%) 2020年3月期第1四半期 399百万円 (336.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	13.89	
2020年3月期第1四半期	9.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	30,839	6,710	21.7	139.81
2020年3月期	32,514	6,056	18.5	126.15

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 6,683百万円 2020年3月期 6,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2021年3月期	0.00				
2021年3月期(予想)		0.00	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,180	1.5	1,306	15.8	1,197	16.2	982	13.8	20.56
通期	50,343	4.2	1,940	30.5	1,785	31.1	1,345	27.3	28.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	48,919,396 株	2020年3月期	48,919,396 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,114,443 株	2020年3月期	1,114,443 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	47,804,953 株	2020年3月期1Q	47,805,223 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
部門別連結売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、きわめて厳しい状態にあると認識しております。経済活動は徐々に再開しているものの、企業の設備投資の抑制、雇用・所得環境の減退、及び個人消費の大幅な減少が景気に大きく影響しており、先行きの見通せない極めて不透明な状況となっております。

このような社会情勢において、当社グループは感染拡大の防止を最優先としながら各事業を継続してまいりました。

売上高につきましては、SE事業部門において土地付太陽光発電の施工が順調に進んだことにより増収となったほか、ES事業部門、環境資源開発事業部門においても前年同期比増収となりました。その一方で、HS事業部門は新型コロナウイルス感染拡大を受け、緊急事態宣言対象地域において新規の営業活動を自粛しておりました。またエネルギー事業部門は高圧供給先の1件あたりの供給電力量の減少及び市場への卸売電力量の減少等によりそれぞれ減収となりました。この結果、グループ全体の売上高は11,893百万円(前年同期比2.5%増)となりました。

利益につきましては、増収を背景としてSE事業部門及び環境資源開発事業部門はそれぞれ増益となり、減収となったHS事業部門、エネルギー事業部門が減益となったほか、ES事業部門は人員増等によるコスト増加により減益となりました。この結果、グループ全体の損益は、784百万円の営業利益(前年同期比26.0%増)、755百万円の経常利益(前年同期比25.8%増)、663百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益(前年同期比52.2%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間の各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

①SE(ソーラー・エンジニアリング)事業部門

土地付太陽光発電の施工が前期と同様に好調に推移したことにより、「太陽光発電システム」が増収となりました。この結果、売上高は3,024百万円(前年同期比28.4%増)となりました。

営業損益は、増収による影響が大きく、販管費のコスト抑制効果もあり、263百万円の営業利益(前年同期は、20百万円の営業利益)となりました。

②HS(ホーム・サニテーション)事業部門

HS事業部門では、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発令されたことを受け、対象地域においては新規営業を自粛し、お客様からのお問い合わせへの対応を行ってまいりました。そのため、「白蟻防除施工」が前年同期比7.0%減となったほか、「基礎補修・家屋補強工事」が前年同期比14.5%減となりました。この結果、売上高は2,854百万円(前年同期比3.2%減)となりました。

営業損益は、減収に加え、人員増により人件費等のコストが増加したことにより、545百万円の営業利益(前年同期比16.8%減)となりました。

③ES(エスタブリッシュメント・サニテーション)事業部門

ES事業部門は、前期以前からの積極的な人員の増加や新規出店により、ビル・マンション等のオーナー及び管理会社等提携先との関係を強化してまいりました。主力商品である「防錆機器取付施工(商品名:ドールマンショック)」が前年同期比2.8%減となりましたが、「給排水設備補修」が前年同期比23.7%増、「建物防水塗装補修施工」が前年同期比52.5%増となりました。この結果、売上高は520百万円(前年同期比6.8%増)となりました。

営業損益は、人員増による人件費等のコスト増加が増収による利益増加の効果を上回ったため、29百万円の営業利益(前年同期比27.5%減)となりました。

④環境資源開発事業部門

廃プラスチック類の受入量が減少しましたが受入物件の精査により「プラスチック燃料」が前年同期比8.8%増となりました。一方、「発電所売上」が前年同期比9.7%減、「有機廃液処理」が受入量の減少により前年同期比5.9%減、「埋立処理」が前年同期比24.9%減となりました。この結果、売上高は4,131百万円(前年同期比0.9%増)となりました。

営業損益は、廃プラスチック類の受入物件精査等による収益性の向上により、942百万円の営業利益(前年同期比8.7%増)となりました。

⑤エネルギー事業部門

契約件数の減少により高圧小売量が減少したほか、相対調達の一部解除を行ったことで、電力市場への卸売量が減少したこと等により、売上高は1,963百万円(前年同期比16.2%減)となりました。

営業損益は、売上高減少による影響が大きく、80百万円の営業損失(前年同期は41百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は30,839百万円となり、前連結会計年度末比で1,675百万円減少しました。主な要因は、受取手形及び売掛金が1,202百万円、現金及び預金が494百万円減少したためであります。負債合計は24,129百万円となり、前連結会計年度末比で2,329百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金が884百万円、未払金が674百万円、未払法人税等が494百万円、短期借入金が403百万円、それぞれ減少したためであります。純資産合計は6,710百万円となり、前連結会計年度末比で653百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益663百万円を計上したためであります。

その結果、自己資本比率については、前連結会計年度末18.5%に対し、当第1四半期連結会計期間末は21.7%となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響に関して合理的な算定が困難であることから、未定としておりました。当期の業績予想の前提として、大規模な第2波が生じないものとしておりますが、世界的に感染症が収束するまでは企業や家計の自主的な感染防止への取り組みが継続するものと考えており、経済活動の回復についても緩やかに推移するものと想定しております。そのため、2021年3月期の業績予想に関しては「保守的立場」に基づき見通しております。

このような社会情勢において、当社グループは既存事業を基盤とした安定的な収益構造の構築と、新たな事業・サービスの展開による成長を目指す「中期経営計画(2019年度-2021年度)」の2年目にあたり、各事業における安定的な収益基盤の構築を優先してまいります。各事業部門の当期の見通しについては、以下のとおりです。

SE事業部門は、FIT制度の改定によりこれまでの全量売電から自家消費促進の制度設計となったことを受け、販売戦略を自家消費型向けに移行してまいります。しかしながら、戦略変更の効果が表れるには時間を要することや、前期好調であった土地付き太陽光について新規案件が見込めないことから前期比減収を見込んでおります。

HS事業部門は、数年来の戦略を継続し、人員の増加によって新規開拓、既存顧客へのサービス体制をより一層拡充することで顧客件数の増加を図ってまいります。

ES事業部門は、管理会社などの提携先開拓、既提携先の密なフォローによる紹介や、不動産オーナーとの直接商談の機会を増やし、主力商品である「防錆機器取付施工(商品名:ドールマンショック)」の販路を拡大してまいります。

環境資源開発事業部門は、プラスチック燃料の品質を高めるため受入物件の精査を進め、利益率及び効率性を改善してまいります。廃プラスチックに関しては、資源としての再利用の機運や適切な処理への関心が高まる中、当社グループはこれまでの経験を活かして資源循環型社会の構築に貢献してまいります。

エネルギー事業部門は、前期大幅な赤字を計上いたしましたが、電力調達の方針を見直し、取引価格が低下傾向にある市場からの調達割合を増やすことで収益の改善を図ってまいります。

業績見通しにつきましては、売上高50,343百万円(前期比4.2%減)、営業利益1,940百万円(前期比30.5%減)、経常利益1,785百万円(前期比31.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益1,345百万円(前期比27.3%減)を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,919	5,424
受取手形及び売掛金	5,453	4,251
商品及び製品	56	54
未成工事支出金	333	188
原材料及び貯蔵品	3,354	3,338
その他	1,362	1,148
貸倒引当金	△202	△202
流動資産合計	16,277	14,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,732	1,698
機械装置及び運搬具(純額)	2,071	2,139
土地	8,053	8,091
その他(純額)	1,882	2,103
有形固定資産合計	13,739	14,033
無形固定資産	450	534
投資その他の資産	2,047	2,066
固定資産合計	16,237	16,634
資産合計	32,514	30,839
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,716	2,831
短期借入金	9,525	9,122
1年内返済予定の長期借入金	928	903
未払金	3,471	2,796
未払法人税等	687	192
賞与引当金	256	386
再資源化費用等引当金	5	7
その他	2,986	2,642
流動負債合計	21,576	18,882
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	262	389
役員退職慰労引当金	9	9
処分場閉鎖費用引当金	637	652
退職給付に係る負債	1,727	1,756
その他	1,744	1,938
固定負債合計	4,881	5,246
負債合計	26,458	24,129

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,041	14,041
資本剰余金	1	1
利益剰余金	△6,506	△5,842
自己株式	△1,481	△1,481
株主資本合計	6,055	6,719
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	37
為替換算調整勘定	△90	△98
退職給付に係る調整累計額	34	25
その他の包括利益累計額合計	△25	△35
非支配株主持分	26	26
純資産合計	6,056	6,710
負債純資産合計	32,514	30,839

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	11,603	11,893
売上原価	7,339	7,388
売上総利益	4,263	4,505
販売費及び一般管理費	3,640	3,720
営業利益	623	784
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	1	1
受取地代家賃	15	15
為替差益	1	1
その他	12	11
営業外収益合計	33	34
営業外費用		
支払利息	50	45
支払手数料	2	0
その他	2	18
営業外費用合計	56	64
経常利益	600	755
税金等調整前四半期純利益	600	755
法人税、住民税及び事業税	136	82
法人税等調整額	29	8
法人税等合計	165	91
四半期純利益	434	663
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	436	663

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	434	663
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	5
為替換算調整勘定	△46	△7
退職給付に係る調整額	21	△8
その他の包括利益合計	△34	△10
四半期包括利益	399	653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	401	653
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	SE事業 部門	HS事業 部門	ES事業 部門	環境資源開発 事業部門	エネルギー 事業部門	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,355	2,948	487	3,469	2,342	11,603	—	11,603
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	624	—	624	△624	—
計	2,355	2,948	487	4,093	2,342	12,227	△624	11,603
セグメント利 益又は損失 (△)	20	655	40	867	△41	1,542	△919	623

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用919百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	SE事業 部門	HS事業 部門	ES事業 部門	環境資源開発 事業部門	エネルギー 事業部門	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	3,024	2,854	520	3,529	1,963	11,893	—	11,893
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	602	—	602	△602	—
計	3,024	2,854	520	4,131	1,963	12,495	△602	11,893
セグメント利 益又は損失 (△)	263	545	29	942	△80	1,700	△915	784

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用915百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

部門別連結売上高

(単位：百万円)

品目	期別	数量 単位	前第1四半期 連結累計期間 自2019年4月1日 至2019年6月30日		当第1四半期 連結累計期間 自2020年4月1日 至2020年6月30日		比較増減	
			数量	金額	数量	金額	数量	金額
太陽光発電システム		kW	13,650	2,262	17,908	2,956	4,258	693
太陽光発電システム卸販売		—	—	61	—	41	—	△20
その他		—	—	31	—	26	—	△4
S E 事業部門計		—	—	2,355	—	3,024	—	669
白蟻防除施工		千坪	174	1,024	154	953	△20	△71
床下・天井裏換気システム		—	—	557	—	725	—	168
基礎補修・家屋補強工事		軒	1,276	517	1,079	442	△197	△74
その他		—	—	848	—	733	—	△115
H S 事業部門計		—	—	2,948	—	2,854	—	△93
防錆機器取付施工		本	230	250	226	243	△4	△6
建物給排水補修施工		—	—	108	—	133	—	25
建物防水塗装補修施工		—	—	32	—	49	—	16
その他		—	—	96	—	94	—	△2
E S 事業部門計		—	—	487	—	520	—	33
プラスチック燃料		t	74,909	2,367	66,112	2,575	△8,797	207
発電所売上		—	—	868	—	784	—	△84
有機廃液処理		t	27,375	475	24,127	447	△3,248	△27
埋立処理		—	—	248	—	186	—	△61
その他		—	—	134	—	138	—	4
環境資源開発事業部門計		—	—	4,093	—	4,131	—	38
売電収入		—	—	2,338	—	1,850	—	△488
その他		—	—	3	—	113	—	110
エネルギー事業部門計		—	—	2,342	—	1,963	—	△378
セグメント間の内部売上高調整額		—	—	△624	—	△602	—	21
売上高計		—	—	11,603	—	11,893	—	290

(注) 取扱品目が多岐にわたり数量の把握が困難なものは、記載を省略しております。